杉本　匡史（伊勢赤十字病院　循環器科）
【留学先】IRCCS Policlinico San Donato, Cardiology, University of Milano, Milano, Italy
【テーマ】安静時および運動時の右室-肺循環連関に心肺運動トレーニングが及ぼす影響

【経過報告書】

イタリアのミラノに 2 年間の予定で留学をしております杉本匡史です。留学後 3 ヶ月が経過し徐々にミラノの環境にも順応してきました。留学先の IRCCS Policlinico San Donato はミラノ市の南東に位置するミラノ大学の附属病院であり、私は Marco Guazzi 先生のもとで心肺運動負荷試験と負荷心エコー検査を同時に行う臨床研究をしています。毎日のルーチンとして心肺運動負荷試験、安静時心エコー検査、呼吸機能検査および心肺運動負荷と負荷心エコーの同時検査を行っています。心臓血管外科が盛んな病院でもあるため対象患者さんも多岐にわたり、先天性心疾患の修復術後、成人先天性心疾患、から高齢者の弁膜疾患および虚血性心疾患にいたるまで幅広い疾患を経験することができます。留学中の研究テーマは左心系心疾患が右心−肺循環のアンカップリングを引き起こす病態の解明であり、呼吸・循環の病態生理を基本とした臨床研究を行っていく予定です。貴重な海外留学での経験を活かして留学助成を頂きました心エコー図学会の発展に貢献できるよう、日々研鑽を積む所存です。